

平成 28 年度 11 月以降の予定

内容			場所	参加 人数	
11 月	4 日	金	社会同和教育市町村巡会研修会	妙高高原中学校	4
	18 日	火	同和教育研修会	東本町小学校	13
	29 日	火	「いのち・愛・人権」展	南魚沼市	
12 月	11 日	日	もちつき大会	白山会館	
1 月	15 日	日	解放同盟上越支部旗びらき	高陽荘	
2 月	4 日	土	部落解放新潟県連合会旗びらき	新潟市	

※11月29日(火)の「いのち・愛・人権」展は、別紙に案内文書を添付しました。
市マイクロバスで送迎します。

(出発…10:00 上越市役所木田庁舎、10:05 白山興業、10:15 教育プラザ
到着…18:35 教育プラザ、18:45 白山興業、18:55 上越市役所木田庁舎)

白山会館小中学生学習会について

◎なぜ白山会館で小中学生学習会が行われているのか？

1 根 拠

- ・政府同和対策審議会による「同和対策審議会答申」（1965年）に基づく事業である。
- ・「同和対策審議会答申」前文では部落差別の解消が「国民的な課題」であり、「国の責務」であると明記され、そのうち教育問題に関する施策の項目では、児童生徒の学力の向上のため教育条件を整備することが定められている。

この答申に基づき、行政、教育他さまざまな分野で同和対策事業や活動が行われている。白山会館の小中学生学習会も、上越市が行う同和対策事業の一つとして行われている。

2 上越市の小中学生学習会について

- ・上越市は、「人権を尊び部落差別などあらゆる差別をなくし明るい上越市を築く総合計画」（人権総合計画、2003年～）を策定し、諸施策を総合的・計画的に推進している。そのうち第2章「同和問題の根本的かつ速やかな解決」の項目で、小中学生学習会を含む白山会館事業の充実、学力保障を中心とした学習会の開催等が挙げられている。

(1) 経緯

白山会館は、1972（昭和47）年に設置され、上越市の同和対策事業を推進し、地域住民の社会教育活動を助長し、もって同和問題の解決に寄与するための施設であり、また上越市における解放運動の拠点となっている。

白山会館を会場として、昭和50年代前半に、「学力保障」と「差別に負けない力を育てる」ことを目的に、小中学生学習会を開始した。

(2) 現状

小中学生学習会開始から現在までの間に、小中学生学習会では進路につながる学力保障、地区では「差別に負けない力」の育成をするという話し合いが行われ、この分担で続けられてきた。

現在は、学習会対象である地区在住の子どもや親せきの子どもだけでなく、ほかの町内会の子ども（対象の子どもの友人）も参加しており、子ども同士の隔たりない交流の場にもなっている。このことは、地区内外の子どもたちの相互理解や、地区の子どもたちの地元に対する愛着につながっている。

(3) 教育委員会の方針

上越市においては、学校・地域・行政ほか様々な組織で同和問題の解決、差別解消への取組が行われているが、いまだそれらの問題が解決しきれていない社会の現状があり、子どもたちを取り巻く環境には厳しい一面がある。

教育委員会では、進路保障に結び付く基礎学力をつける学力保障と、友達や仲間同士が集まれる場所、励ましあえる仲間づくりの場所として、小中学生学習会を継続して実施する。